産経新聞

# 安心につながる技術で社会貢献

## 大日工業 川瀬昌之社長(61)

豊富なプリント基板生産の実績を武器に、国内外の市場に向け多様な事業を展開する大日工業。川瀬昌之社長(61)は、蓄積した技術力を生かして防災・減災につながる新商品の開発、量産化に入るほか、発光ダイオード(LED)照明を内蔵した光る手すりなど安心、安全につながる商品展開で社会貢献に力を入れる。

(那須慎一)

――企業理念などは

「当社は今年で設立50周年を迎えました。電子基板製造だけでなく、自動車用ライト部品からプリント基板に用いるコネクターの製造やエアコンに使う制御基板のアッセンブリ(組み立て)と、多様なモノづくりを経験し、技術を蓄積してきました。現在は業務用エアコンの室外機に使われるプリント基板を主力に製造しています。これは6年前に他界した創設者の釼持榮治による功績が現在に引き継がれているものです。当社の企業理念は『1・高品質、2・人財育成、3・社会貢献』です」

――現在注力している事業は

「当社でも防災対策に役立つモノがないかと考え、『ポリウレアシート』という新しい素材の製品の開発に取り組んでおり、間もなく量産化に入ります。このシートを瓦屋根の下や、壁面に貼っておくことで、地震や台風などによる建造物への被害を減少させることができます。施工が楽な点も特徴です。製品化には大型ロボットを導入し、試作を行っています。近年、日本に限らず全世界が異常気象によって大きな被害を受けています。当社の技術が製品化され、少しでも被災が小さくなることが社会貢献になると信じて商品開発を進めています。今後、商品のアピールを積極的に進めていきます」

――今に至るご苦労や思いは

「当社は100人足らずの従業員が毎日モノづくりに専念している小さな会社です。競争相手は当社より大きな企業となります。時代の変化とともに主力製品も変化します。当社の持つ製造技術は大手企業の協力会社として認められるために自社ができる知恵と経験を生かした方法をコアにして積み上げてきたものです。その技術を持続するためには常に革新する意識を従業員全員が持つことです。やはり企業は人なりです」

――強化したい事業案件などは

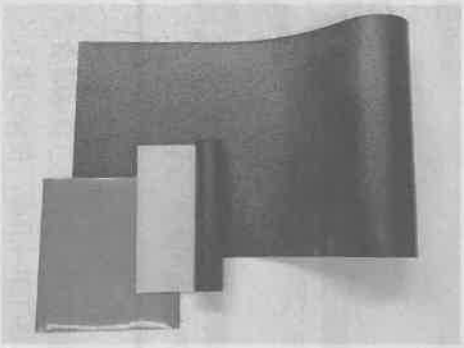
「最優先課題は3年前から取り組んできた社内のIoT(モノのインターネット)技術の活用をはじめ、自社製品で、手すりにLEDライトを内蔵し、夜間など暗い場所での安全性を高める木の手すり『ははのて』を住宅、病院や介護施設、公共施設、工場内の安全対策として販売強化することです。また、避難タワーの誘導灯など屋外でも使用できる光る木の手すりの開発も残されています」

「『持続可能な開発目標(SDGs)』に関しては、これまでの活動の延長として取り組んでいくことを考えています。私の今後の目標としては、従業員が65歳を過ぎても無理せず楽しくモノづくりの仕事ができる職場を新たに作ることです」

――ウィズコロナ時代にどう対応されるか

「当社は毎月、私も参加して安全衛生活動を実施しています。最近の取り組みは新型コロナ感染も考慮した感染対策、職場の環境を意識した熱中症の防止策、転倒やミスによるケガの予防措置などを行っています。地味な活動ですがその繰り返しが事業を安全に、変わることなく持続することができる原点だと考えています。これからも従業員の安全を最優先に考えた取り組みを継続していきます。今後も、安心安全につながる技術、商品の提供で社会に貢献していきたいです」

かわせ・まさゆき
- 生年月日　昭和33年11月18日
- 出身地　清水市(現静岡市清水区)
- 最終学歴　福井工業大工学部卒
- 主な職歴　大学卒業後、大日工業に入社。平成23年11月25日から現職
- 趣味など　新しい技術や製品を見つけ、機能や構造を調べて自社内で試すこと



ライノジャパンと共同開発した「ポリウレアシート」

静岡 活躍企業

■会社概要
- 所在地　静岡市清水区辻1の9の30
- 設立年月日　昭和45年4月2日
- 主な事業内容　業務用エアコン室外機の制御基板、電源基板などの製造
- 従業員数　89人(令和2年9月10日現在)
- 資本金　1千万円(同)